

待ち遠しい スポーツシーズンの開幕

市長 明智忠直



コロナ禍の中で全てのスポーツやイベントなどが自粛や休止をしている状況が続きましたが、ようやくさまざまなスポーツイベントなども、段階を踏んで再開されるようになりました。待望のプロ野球が6月19日から無観客ゲームで開幕し、サッカーリーグやゴルフ、大相撲などといったスポーツも徐々にスタートする状況になりました。まだまだ感染拡大が危惧されるため、当分の間は無観客で試合が行われると思います。それでもテレビやインターネット、スマホなどで楽しむことができ、ようになつたことは、格段の充実感を味わえるのではないのでしょうか。開幕を待つ練習を積み重ねてきた選手には、私たちの想像もできない苦労や努力があったものと思います。苦難の中で培った心技体で、改めて国民に感動と感激を与えてほしいと思います。

スポーツの素晴らしいところは見る側と選手側で感じ方が違いますが、私がスポーツを見て素晴らしいと感じることは、いつの間にか熱狂してしまうことだと思えます。ファン氣質といえますか、自分もその中に入り込んでしまい、ほかのことを考えられないくらい没頭できることではないでしょうか。スポーツに興奮し、くつろぎ、癒されることが、自分の人生に大きく影響していると感じています。

プロ野球が大好きであった小さい頃、川上、大下、青田、そして栃若、柏嶋時代の相撲を見て育ちました。ファンになること、応援することと辛い、苦しい、厳しいことなども随分乗り越えられたように思います。スポーツの持つ魅力を、多くの人は有形無形の中で大切にしているのではないのでしょうか。そういった意味からも、スポーツシーズンの開幕を国民みんなで盛り上げていきたいと思えます。

市図書館だより



開館時間／火～金曜日…午前9時～午後6時

土・日曜日…午前9時～午後5時

今月の休館日／16日(木)、23日(木・祝)、24日(金・祝)、毎週月曜日

岡市図書館(☎62-2560) <http://www.library-asahi-chiba.jp/>

今月のおすすめ

「江戸の夢びらき」



松井今朝子 著
(文藝春秋)

元禄時代の歌舞伎役者初代市川團十郎。彼の生み出す斬新な演出と芸は、民衆の注目を集め空前の人気者となる。その謎多き生涯を描く。

「こんぱるいろ、彼方」



柳月美智子 著
(小学館)

母がボートピープルとして日本にきたベトナム人と知った奈月は自分のルーツに関心を持つ。奈月の変化が家族に与えたものとは。

新着図書

- 明日の自分が確実に変わる10分読書 (吉田裕子)
- 独裁者ヒトラーの時代を生きる (大島隆之)
- 旧国名でみる日本地図帳(平凡社)
- コロナショック・サバイバル (富山和彦)
- 蓼食う人々 (遠藤ケイ)
- 今さら聞けない料理のこつ (有元葉子)
- パラリンピックと日本(田中圭太郎)
- 天才の考え方 (加藤一二三・渡辺明)
- 漱石と鉄道 (牧村健一郎)
- 逆ソクラテス (伊坂幸太郎)
- 死者との対話 (石原慎太郎)
- 赤ちゃんをわが子として育てる方を求む (石井光太)
- ビルマに見た夢 (古処誠二)
- 五年後に (咲沢くれは)
- 駆け入りの寺 (澤田瞳子)
- 恋愛未満 (篠田節子)
- 法の雨 (下村敦史)
- 業平 (高樹のぶ子)
- 合唱 (中山七里)
- 四神の旗 (馳星周)
- カケラ (湊かなえ)
- 心にいつも猫をかかえて(村山早紀)
- 告解 (薬丸岳)
- 蝶の唆え (奥本大三郎)
- パリの砂漠、東京の蜃気楼 (金原ひとみ)
- 旅のつばくろ (沢木耕太郎)
- 猫を棄てる (村上春樹)
- あの本は読まれているか (ラーラ・プレスコット)
- コロナの時代の僕ら (パオロ・ジョルダノ)